

事業系食品ロス削減実証事業の実施について

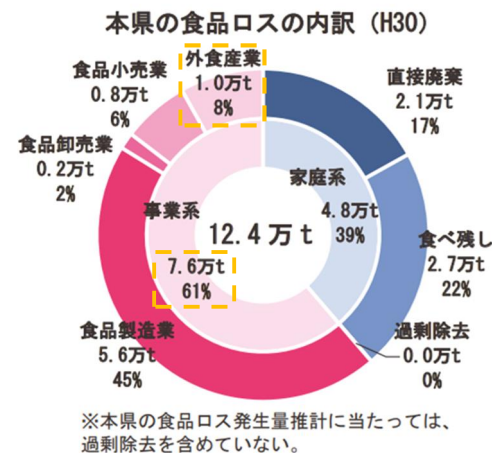
栃木県環境森林部資源循環推進課

1 概要

- 本県は全国と比べて食品ロス全体に占める事業系食品ロスの割合が高い特徴があります。【事業系：家庭系の割合⇒（本県）61％：39%、（全国）50％：50%】
- 事業系食品ロスの削減に向けて、県内の食品関連事業者へ食品ロス削減プログラムに取り組んでもらい、食品ロスの削減効果と経費節減等の経営改善効果を検証する実証事業を R4(2022)年度から実施しており、今年度は外食産業を対象に実施します。
- 実証事業により得られた成果は同業者へ横展開を行い、県内の事業系食品ロス削減機運の醸成を図ります。

【本実証事業の経過】

年度	対象業種
R4(2022)	宿泊業
R5(2023)	食品小売業
R6(2024)	食品製造業
R7(2025)	外食産業



2 実証事業協力事業者

株式会社 宮食 （本社所在地：宇都宮市平出町 4083-7）



【事業内容】

- 外食店舗経営
- 幼稚園給食 等



3 実証事業の詳細

- 実証事業協力事業者の食品管理に係る現状（食品ロスの発生場面や発生量等）を把握し、効果が見込まれる対策を協議。
- (1)を踏まえ「食品ロス削減プログラム」として、ナッジを活用した消費者行動の誘導に取り組むことを決定。
- プログラム実施による食品ロス削減効果や経営改善効果を検証し、同業他社に成果を横展開。

【概要】

外食産業において発生する食品ロスの多くを占める「食べ残し」をナッジの活用により消費者が強制されることなく自ら削減に取り組むよう促す。

⇒ 外食場面でのナッジ活用による食品ロス削減効果を検証する。

【対象食品】

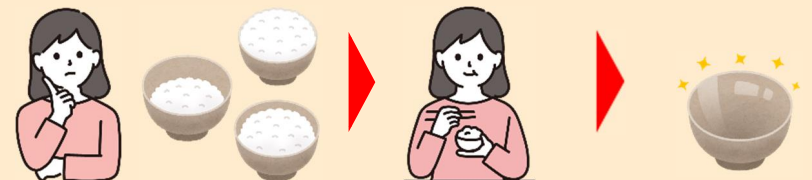
ライス、サラダ

【期待される効果】

- 食べ残しによる食品ロス削減
- 仕入れ量の適正化による経営改善



【例】自分に合った量の選択による食べ残し削減



ナッジの活用による消費者行動の誘導

4 実施スケジュール

期間	実施内容
R7(2025).9～10	「食品ロス削減プログラム」の実施
R7(2025).11～12	専門家による効果分析
R8(2026).1以降	実証事業成果の同業他社への横展開